

研究開発型スタートアップの起業・経営人材確保等支援事業

令和5年度概算要求額 **50.4 億円** (25.8 億円)

事業の内容

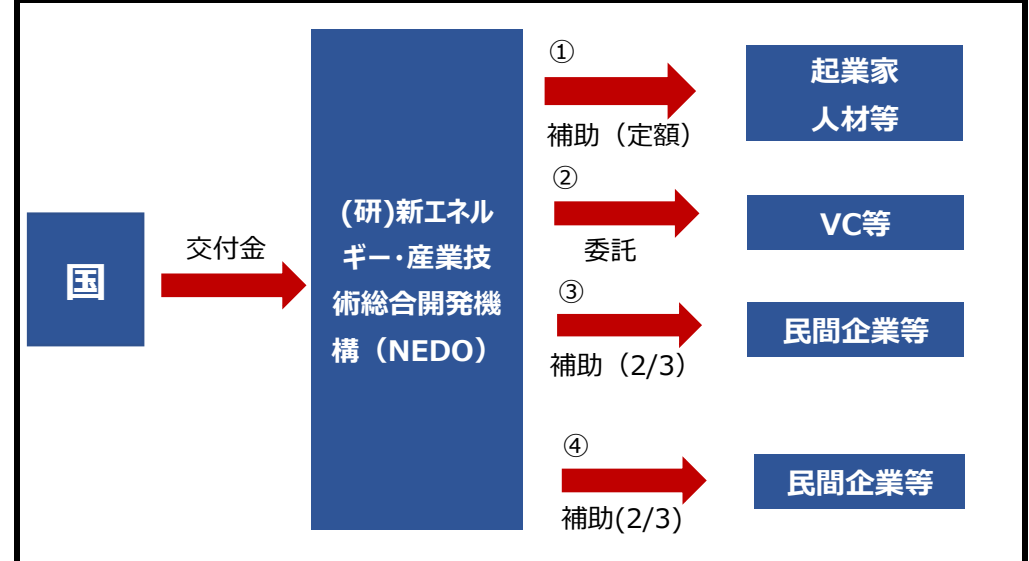
事業目的

日本の大学等における優れた技術シーズを発掘し起業に結びつけるとともに、経営人材を確保すること、成長段階に必要な実用化開発等にかかる費用を支援すること等により、イノベーションの担い手である研究開発型スタートアップの創出・成長を加速化させるため、①技術シーズを持つ卓越した人材発掘や起業家の育成、②経営人材をVC等が外部から確保し経営人材獲得ルートの多様化を目指します。さらに、③スタートアップに対してVC、研究機関、事業会社等の関与の下で行う実用化開発等を支援します。併せて、日本のスタートアップの国際競争力を一層強化するため、④国際共同研究開発により国際市場への展開を促進します。

事業概要

- ①ディープテック分野での人材発掘・起業家育成
 産業界のトップランナー等が技術シーズを持つ人材を発掘・指導するとともに、起業家等のビジネスプラン作成や試作開発等を支援します。
- ②大学発スタートアップにおける経営人材確保支援
 VC等が大学発スタートアップ等の経営を担える人材を探索する取組や、技術シーズを探索し経営者として参画する取組等を実施します。
- ③研究開発型スタートアップ支援事業
 研究開発型スタートアップの成長段階ごとにVC、事業会社等の関与の下で行う実用化開発等を支援するとともに（STS）、政府の課題から設定した研究開発テーマについて事業化・成長可能性の高い技術シーズをステージゲートにより選抜しながら支援します（SBIR指定補助金等）。
- ④国際展開支援
 国際展開を目指すスタートアップが研究開発の初期段階から海外の企業・研究機関等と連携して実施する国際共同研究開発を支援します。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

- ①修了生の5割以上が、事業終了後1年以内（起業支援）又は5年以内（人材発掘）に起業や事業化資金を確保することを目指します。
- ②大学発スタートアップの創出数を令和9年度までに4000社とすることを目指します。
- ③事業年度毎の支援終了1年後までに次ステージの資金調達率を5割にすること、支援終了後5年後に支援開始前と比較して認定VC等の研究開発型スタートアップに対する投資額を2倍にすることを目指します（STS）。また、本事業のフェーズ1で研究開発を実施し、他省庁事業も含めフェーズ2に移行した事業者の、事業終了後5年での実用化率を30%以上にする事を目指します（SBIR指定補助金等）。
- ④採択総数の5割以上が事業終了時に研究開発目標を達成することを目指します。